

平成23年7月29日
シーニックバイウェイ北海道推進協議会

ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクトの各賞決定について(案)

標記の表彰制度(ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト)は、シーニックバイウェイ北海道推進の基本方針3.(3).カ)に基づき、平成20年度より実施しているところ。

第7回シーニックバイウェイ北海道ルート審査委員会(平成23年6月8日開催)における審査・推薦により、次のとおり最優秀賞「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト」並びに各賞の決定を行う。

1. 指定ルート

最優秀賞(1件)

プロジェクト名	『ヒラメ底建網オーナー制度in遠別』
ルート名	萌える天北オロロンルート
ルート代表	西 大志 (苫前町商工会)

優秀賞(1件)

- ・ ドライブフリーマップの作成 (釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ)

ルート審査委員特別賞(2件)

- ・ ニセコ羊蹄エリアにおける「エキノコックス駆除活動」の広域展開
(支笏洞爺ニセコルート)
- ・ 地域の情報発信・PR「情報拠点」 (大雪・富良野ルート)

2. 候補ルート

奨励賞(1件)

- ・ シーニックバイウェイスタンプラリーin南区 2010 (札幌南シーニックバイウェイ)

なお、上記プロジェクトへの評価・附帯意見は別紙による。

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクトの講評

《ルート審査委員会による講評》

本表彰制度に登録されたプロジェクトの審査にあたっては、シーニックバイウエイ北海道の推進に向けて、他の模範となるルート活動の積極的な創出、啓発、普及を目的に、活動の持続性、地域への浸透・波及性、ルート運営の基盤強化、ブランド形成や活用性、人材育成の充実度などの視点から総合的に評価し、各賞の選出を行った。

いずれの取組も、地域の特長の活用と創意工夫が見受けられ、シーニックバイウエイ北海道の持続的推進や発展に貢献する取組と評価できる。

その中から、当該ルートの代表的な取組に留まることなく、他のルートへの波及・展開や今後のシーニックバイウエイ北海道全体のブランド化への貢献なども含め、将来への発展性が高く評価できる取組を「最優秀賞」として推薦するものである。

なお、この受賞をきっかけに、国内外に広く認められるプロジェクトに成長するためのひとつのステップと捉えていただき、今後のともプロジェクトに係わる人材の育成や地域における活動の輪の拡大、定着などに努めていただき、さらなる質の向上や発展へ向けた取組を大いに期待したい。

■最優秀賞（ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト）

プロジェクト名	ヒラメ底建網オーナー制度in遠別
ルート名	萌える天北オロロンルート
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組は、全国と地域をつなぐイベントとして定着しつつあり、地域の質の高い水産資源の“オーナー制度”を設け、地域のメディアを起点に、全国へ情報発信したことが、ブランド性の向上に寄与している。また、3年間取組を継続することにより、参加者の増加や体制の強化、内容の充実を図られてきた努力は十分に評価できる。</p> <p>一方で、本取組をさらに全国及び道内各地に発信、浸透させるための努力をし、今後も取組を継続することにより、「遠別のヒラメ」が全国を代表するブランドへ成長・発展することを期待する。</p>	

■優秀賞

プロジェクト名	ドライブフリーマップの発行
ルート名	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組は、様々なドライブ観光客に応じた他種類のマップ(初心者用、外国人(英語版、中文繁体版)用)を作成していることや、日常的に旅行者と接しているシーニックカフェのスタッフと連携し、工夫されたコンテンツを作成していることが高く評価できる。</p> <p>今後も引き続き、シーニックカフェ等と連携し、ドライブ観光客のニーズの把握や内容の充実に努め、観光客の利便性を高めるとともに、本取組を通して、北海道のドライブ観光の振興へより一層貢献することを期待する。</p>	

■審査委員特別賞(2件)

プロジェクト名	ニセコ羊蹄エリアにおける「エキノコックス駆除活動」の広域展開
ルート名	支笏洞爺ニセコルート
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組は、地域ボランティアと自治体が連携するなど、シーニックバイウェイ北海道の人的ネットワークをうまく活用し、北海道が抱える重要な問題に対し、実効性のある活動を行ったことが高く評価できる。</p> <p>今後は、本取組を模範としながら、環境視点をシーニックバイウェイ北海道に取り込むことが必要と考える。これまでの活動や枠組みの構築等のノウハウを他地域にも広め、いずれは北海道全域で活動を展開し、環境保全へ貢献していくことを期待する。</p>	

プロジェクト名	地域の情報発信・PR「情報拠点」
ルート名	大雪・富良野ルート
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組は、4箇所の「情報拠点」をルートとして自主運営できていることが素晴らしい。特に「直売カフェ Muu」では、西神楽夢民村との連携により、地域の農産物の販売及び情報発信を行い、昨年度の売り上げが1000万円を達成していることも高く評価できる。</p> <p>今後は、「情報拠点」としての情報の質の確保に努めるとともに、地域産業と情報拠点を結んだコミュニティビジネスとして自立し、地域経済の活性化に寄与されることを大いに期待する。</p>	

■ 奨励賞

プロジェクト名	シーニックバイウェイスタンプラリーin南区
ルート名	札幌南シーニックバイウェイ
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組では、スタンプラリーに使用するスタンプやのぼり旗、応募箱を、札幌市立大学の学生と連携しながら制作している。出来上がったスタンプ等自体に加え、“若者”の巻き込み方が実に秀逸であり、他ルートへの模範となる。また、案内マップとチラシの質も高く、スタンプラリー帳以外にも、観光ガイドブックとして活用できるなど、内容の工夫がなされている。加えて、報道機関と連携した広報や参加者数の拡大などの成果も高く評価できる。</p> <p>今後は、魅力的な地域資源の情報発信や参加者のニーズ把握に努め、より一層、内容の充実を図り、北海道の都市型スタンプラリーとして、国内以外に認知される取組となることを期待する。</p>	